

参加無料

令和2年度 岩手県立大学社会福祉学部 介護研修会

認知症の人中心のケアと家族支援

本人中心のケアが提供されることは現在の流れとしてあたりまえであるが、家族にとってつらい気持ちになることもある。「家族の人権はだれが考えてくれるのか？」本人支援と家族支援は相反するものなのか……。



日時

令和3年 3月14日(日)
13:00~15:00

講師

医療法人圓生会 松本診療所のわすれクリニック
理事長・院長 **松本 一生**

対象

一般の方・学生の方、関心のある方はどなたでも
岩手県介護福祉士会会員（生涯研修ポイント付与）
岩手県認知症ケア専門士会会員（認定単位付与）

WEB開催
定員100名

【講師プロフィール】 昭和31年、大阪生まれ。

両親が開設（昭和26年）した松本診療所を引き継ぎ、認知症を主とする精神科を始めて30年目となる。

自身の介護経験から家族、家族と連携し治療を行っている。日本認知症ケア学会理事。

著書に「家族と学ぶ認知症（金剛出版 2006）」「認知症介護サポートマニュアル（河出書房新社 2007）」「認知症を生きる一思い出は薄れても希望の日々は消えない」（昭和堂 2008）」「これからの老々介護にそなえるための心得40（河出書房新社 2011）」「あなたがいるだけでこの世は意味がある（ワールドプランニング 2018）」「いのちとの出会い（ワールドプランニング 2019）」他多数

- 主催：岩手県立大学社会福祉学部
- 共催：岩手県介護福祉士会
岩手県認知症ケア専門士会
- 後援：一般社団法人日本認知症ケア学会

お問い合わせ

岩手県立大学社会福祉学部

電話：019-694-2434

メール：kaigo@ml.iwate-pu.ac.jp